

- わなの捕獲状況をメールとWebアプリで検知(LPWA通信を利用した捕獲検知情報通信)
- LTE-M/SIGFOX/独自LoRaWANの電波エリアで利用可、設置場所にあわせて選択可能
- 専用Webアプリを用い、設置した罠をマップ上で管理、自治体を中心にした実施隊で共有利用が可能

機器情報

➤ 機器の概要

◇捕獲情報をWebアプリやメールでお知らせ

- ・機器は既存の罠に設置可能
- ・どこにいても、複数の捕獲罠を設置した際でも、いつ・どの罠が捕獲したのかをリアルタイムに確認可能

➤ 使用目的

捕獲通知

➤ 対象鳥獣

箱わな、ドラム缶式罠、くくりわなで捕獲できる
獣全般（クマ、イノシシ、シカ、ハクビシンなど）

➤ 特長

- ・3種類のLPWA方式を選択可能
- ・単4乾電池2本で1シーズン程度稼働可能
- ・LoRaWAN は、3G/LTE不感エリア地帯でも運用可能
- * 半径1km程度の電波到達が可能、地形等の条件により変わります。



導入実績

➤ 導入市町村

- ・青森県、青森県平川市、青森県弘前市など
- 秋田県八峰町様：2023年 わなベル8台稼働
箱わな、対象鳥獣：ツキノワグマ
「わなベル」を用いて78頭捕獲
- 見回りが楽になりエサ交換のみで良い
- 【令和6年度導入】わなベル 6台を追加導入
【以下導入都道府県のみ記載】
- ・北海道、宮城県、福島県、埼玉県、千葉県、長野県、大阪府、兵庫県、岡山県、愛媛県など

イニシャルコスト、ランニングコスト

➤ イニシャルコスト

SIGFOX版 / LTE-M版：69,400円(税抜)
LoRaWAN版：75,000円(税抜)

➤ ランニングコスト

4,800円/年(SIGFOX/LTE-M)

* LoRaWAN はG/W用SIM 1,200円/月(税抜)が必要

活用技術

- LPWA：SIGFOX，LTE-M，LoRaWANの択一選択が可能
- センサ：マグネットセンサー
- メール発報：複数のメールアドレスに送信可能、実施隊の出動連絡を省略
- LoRaWANは1つのG/Wに500台位のデバイス、他センサを接続可能

問い合わせ先

株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック
〒036-0162 青森県平川市館山前田85-2
電話：0172-44-8133 担当：佐藤、佐々木
メール：info@j-world.co.jp